



# 博物館の窓

第77回

学芸員  
持田

誠

## 明治時代の盗難の記録

博物館では、十月に博物館講座「駐在さんのしごと」を開催しました。浦幌でもっとも古い駐在所は、1902（明治35）年、旧生剛村市街地へ設置された「生剛村巡查駐在所」で、これが現在の「浦幌駐在所」へと発展していきます。

博物館には、生剛村巡查駐在所が設置翌年にまとめた「盗難事件簿」が収蔵されています。道内の学芸員で古文書を読み解く勉強会があったのでこの資料をみんなで読んでみました。

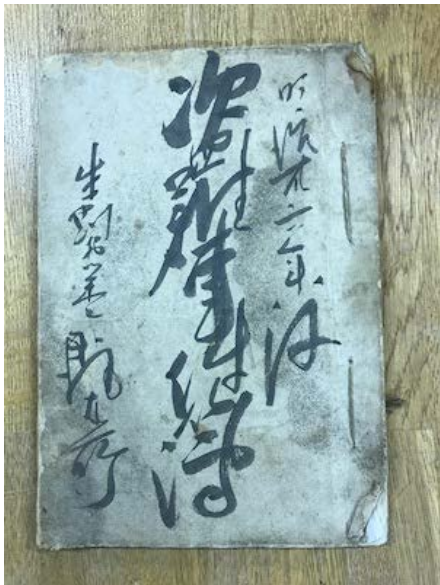
被害者 生剛村字下浦幌 土田庫吉

捜査スルニ贓品八十勝太●方八十一月十一日●外一名ヲシテ持行金壹円七十五銭ニテ売却シアリタリ

●●方ニ売却シアリタルヲ発見  
犯人●●逮捕ス ▲資料から抜粋●●は人物名▽

被害者の土田庫吉は、土田農場の農場主です。ここへ2人組の泥棒が入り、盗んだ品を十勝太で転売していたところを逮捕した、とのこと。

年末年始、皆様も泥棒には気をつけましょう。



明治三十六年盗難事件簿 生剛村巡查駐在所  
(浦幌町立博物館所蔵)

※資料翻刻にあたり、北海道博物館の三浦泰之学芸員にご協力いただきました。